

チューリップ新品種「春天使」の育成

1 背景・ねらい

チューリップ品種の中で、早期促成栽培が可能な白系品種は少ない。また、小型の品種は、風雨に強いことから花壇植えに適するが、茎長が短く切り花生産には不向きである。

そこで、花壇では小型の草姿、促成切り花ではボリューム感のある白系品種の育成を目標とした。

2 成果の概要

(1) 育成経過



母 クリスマス レッド

×



父 アルビノ



春天使



- ・1984（昭和 59）年交配・・・588粒
- ・1989（平成元）年初選抜・・・7系統
- ・2003（平成 15）年
～2005（平成 17）年・・・系適試験
- ・2006（平成 18）年・・・農林登録
種苗登録出願



(2) 特性の概要

ア 露地での開花期は4月中旬～4月下旬。花色は淡黄緑色。咲き始めの花弁中央部に紫ピンク色の発色があるが、開花後3～4日で消える。茎葉は強健で、葉の着生バランス、咲き揃いも良いことから、花壇植えに適する。

イ 球根収穫期は6月中～下旬。主球の肥大性は「中」程度だが、球根収量性は「多」、分球性は「大」である。

ウ 年末から年始にかけて、安定して開花する。開花揃いが良く、わい性としてはボリューム感のある切り花・鉢物生産ができる（表1）。

表1 12月出し促成適応性(2003～2005年の平均値)

試験地	開花率(%)	開花日(月日)	花弁長(cm)	茎長(cm)	葉長(cm)	脚長(cm)	切り花重(g)	到花日数(日)
新潟*	100	1/1	5.5	33.4	23.1	6.2	35.0	62
埼玉*	100	12/28	6.2	34.5	20.8	7.4	29.7	51
埼玉	100	12/29	6.0	35.1	21.4	7.5	28.8	52
富山	97	12/27	5.5	29.2	20.8	5.5	27.1	58
アルビノ**	96.8	12/30	5.5	29.5	21.4	5.0	28.5	60

・供試サイズ:11cm球

* ホルモン処理

** 対照品種「アルビノ」:富山県の値